岩盤ボーリング柱状図

調査名	一級河川　太田川水系　青ケ迫川　通常砂防事業に伴う測量設計業務委託
事業・工事名	
調査目的及び調査対象	砂防　砂防

ボーリング名	Bor.No.1	調査位置	広島県山県郡安芸太田町田吹			北緯	34° 33’ 05.7840″
発注機関	広島県西部建設事務所安芸太田支所	調査期間	令和3年 4月22日～ 令和3年 4月26日			東経	132° 12’ 27.9629″
調査業者名	株式会社　荒谷建設コンサルタント 電　話　082-292-5482	主任技師	岸本 剛 地質調査技士登録番号：第27030号	現場代理人	有田 直矢 地質調査技士登録番号：	コア鑑定者	有田 直矢 地質調査技士登録番号：
ボーリング責任者	松長 毅 地質調査技士登録番号：第21078号						

孔口標高	TP 526.67m	角度	180° 上 90° 下 0°	方向	北 0° 270° 90° 西 東 180° 南	地盤勾配	水平 0° 鉛直 90°
総削孔長	10.00m	使用機種	試錐機：東邦DO-D	エンジン：ヤンマー TF-90M	ポンプ：東邦製BG-3C		

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	工学的地質区分名（模様）	工学的地質区分名	色調	風化の程度	変質の程度	硬軟	コア形状	割れ目の状態	岩級区分	コア採取率 (%) / 最大コア長 (cm) / RQD [%]	記事	孔内水位／測定月日
				人工材料	暗灰								既設堰堤。硬質な粗石とコンクリートの混合材料(粗石コンクリート)からなる。 GL-0.0～0.2m化粧石を含む。 GL-0.3m付近から逸水。 コンクリートは粗骨材を含む。 GL-0.30～4.55m間でセメント部の軟質化箇所が多く確認できる。 GL-1.00～4.50m間で10～30cm程度の硬質な粗石を多く混入する。 GL-6.00～6.40m, GL-7.20～7.70m間でコンクリートは土砂化する。	4/22 無し 4/26 5.50
	518.92	7.75												
	518.83	7.84		風化花崗岩	淡褐灰	w4	h3	D	Ⅳ	c	D		中～粗粒花崗岩。 風化し軟質となるが岩組織は明瞭。 DH級相当で，指圧で崩れる。	
				花崗岩	褐灰	w2	h2	B	Ⅲ	b	CL		中粒～粗粒花崗岩。 CL級相当。硬質でハンマーの打撃で軽い金属音がするが，縦亀裂が多く発達している。	
	516.67	10.00												

標尺 (m)	標準貫入試験 深度－N値図	N値	深度	打撃ごとの貫入量	50回の貫入量	自沈時の貫入量	原位置試験	室内試験	削孔 削孔月日	削孔速度 (cm/h)	孔径・孔壁保護	コアチューブ・ビット	給圧 (MPa)	回転数 (rpm)	送水圧 (MPa)	削孔水・送水量 (L/min)	排水量 (L/min)
									4/22	37	66／ケーシング	W／D	300	300	0	W2/3	0
										58			200	300			
													150	300			
									4/23								
		50以上	8.00	貫入不能						29	66	W／D	250	300			
		50以上	9.00	貫入不能													
		50以上	10.00	貫入不能					4/26								